

学校評価の結果について

学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。得られた結果、寄せられたご意見や要望を考察し今後に向けた改善の方向を考えました。子ども達のよりよい教育のため、学校・家庭・地域の連携をより一層深め今後益々努力してまいります。

※提出者数は保護者160名、児童273名 職員19名

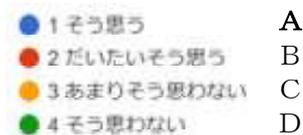
1 学校生活の全般について

①喜んで学校へ通う

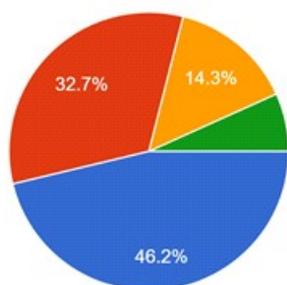
児童：私は、学校に行くのが楽しみである。

保護者：子どもは、喜んで学校に登校している。

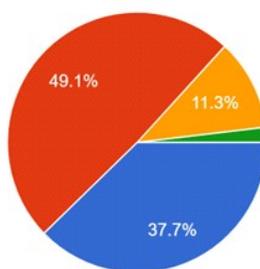
職員：子どもたちは喜んで登校している。



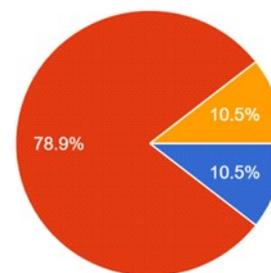
<児童>



<保護者>



<職員>



児童	A : 46.2	B : 32.7	C : 14.3	D : 6.8
保護者	A : 37.7	B : 49.1	C : 11.3	D : 1.9
職員	A : 10.5	B : 78.9	C : 10.5	D : 0

単位：%

保護者の87%、児童の79%がA、Bと評価をしています。多くの児童が楽しく学校に通っていることが分かります。しかし、保護者の13パーセント、児童の21%がC、Dの評価をしていることが気に掛かります。学習や行事、友達関係での不安を少しでも取り除けるように、今まで以上に職員が児童の様子を良く見て保護者の方と連携を取りながら、また職員間の連絡も密にしながらA、Bの評価が増えていくよう努めて参りたいと思います。ご心配なことがありましたら、すぐに担任や学校に連絡をいただきたいと思ひます。

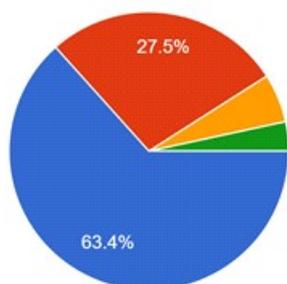
②職員の児童理解

児童：先生は、私のことをよく分かってくれ、困った時には相談にのってくれる。

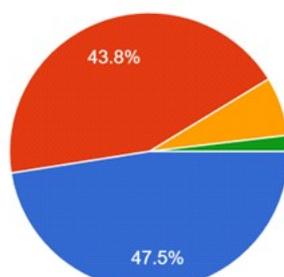
保護者：職員は、子どもを理解し指導にあたっている。

職員：子どもたちの理解に努め、適切に指導している。

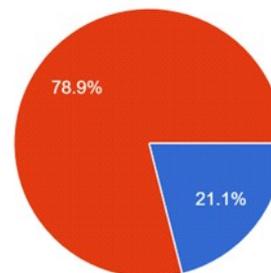
<児童>



<保護者>



<職員>



児童	A : 63.4	B : 27.5	C : 5.7	D : 3.4
保護者	A : 47.5	B : 43.8	C : 6.9	D : 1.9
職員	A : 21.1	B : 78.9	C : 0	D : 0

単位：%

保護者の91%、児童の91%でA、Bの評価をいただきました。しかし、保護者の9%、児童の9%がC、Dの評価としています。まだまだ不十分だと感じている職員も5%いました。職員は更に信頼感を得られるように児童・保護者の方と関わっていく必要があると感じています。これからも児童・保護者の皆さんが安心して学校生活を過ごせると感じるように、児童の様子をしっかりと見ながら家庭との連絡を密にして個に応じた支援や指導を適切に行ってまいります。また、悩みをきちんと受け止め児童理解に努

めてまいります。お子さんの様子から心配なことがありましたら、どんなことでも学校に連絡をお願いいたします。

③あいさつについて

児童：私は、「おはよう」「さようなら」のあいさつを誰にでも進んでしている。

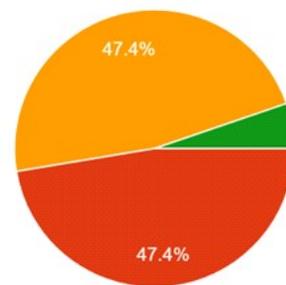
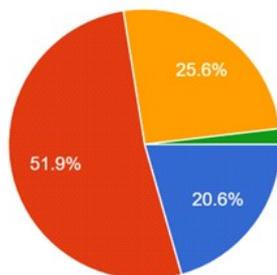
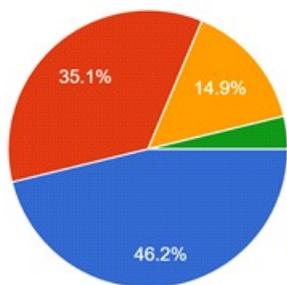
保護者：子どもは、家庭や地域で進んであいさつをしている。

職員：子どもたちは「おはよう」「さようなら」のあいさつを誰にでも進んでしている。

<児童>

<保護者>

<職員>



児童	A: 46.2	B: 35.1	C: 14.9	D: 3.8
保護者	A: 20.9	B: 51.9	C: 25.6	D: 1.9
職員	A: 0	B: 47.4	C: 47.4	D: 5.3

単位：%

保護者の方や職員に比べて、児童の「良くできている」と感じている割合が大きくなっています。職員からは「誰にでも進んで」挨拶をするのはまだまだという意見がありました。子どもたちの「良くできている」という気持ちも大事にしながら、家庭でも学校でも挨拶の大切さを伝えていければと思っています。不審者などへの心配があり、挨拶をなかなか勧められないとの声もありました。よく分かります。防犯上、地域の方や顔見知りの方への挨拶は必要かと思えます。「地域の方へのあいさつは自分から進んでできるようになってきた」と感じている保護者の方もいます。保護者の皆様も、家庭や地域で小学生に大きな声であいさつをしていただくとありがたいです。

2 学校目標に関わって

④「たくましく」ねばり強くやりぬく子どもより

児童：私は、行事や学習を最後まで頑張って取り組んでいる。

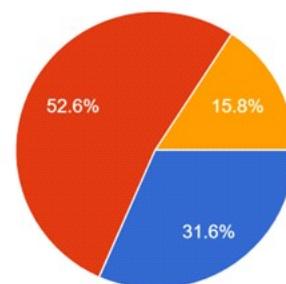
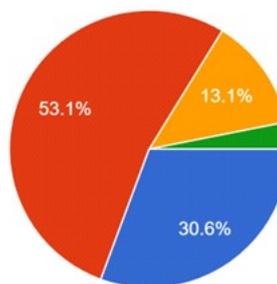
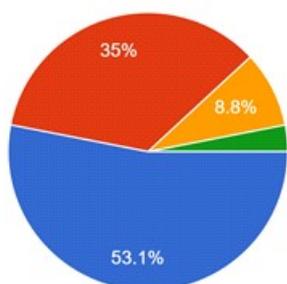
保護者：子どもは、行事や学習に粘り強く取り組もうとしている。

職員：子どもは、行事や学習に粘り強く取り組もうとしている。

<児童>

<保護者>

<職員>



児童	A: 53.1	B: 35	C: 8.8	D: 3.1
保護者	A: 30.6	B: 53.1	C: 13.1	D: 3.1
職員	A: 31.6	B: 52.6	C: 15.8	D: 0

単位：%

保護者の83%、児童の88%でA、Bの評価をいただきました。しかし、保護者の16%、児童の12%がC、Dの評価としています。行事や学習でお子さんの取り組みから、「大分粘り強くなってきた。」「最後まで頑張ってやり抜こうとしている。」というご意見もありました。職員の声かけや子どもの見取り、意欲の持たせ方など、更に工夫し多くの児童が粘り強く学習や行事などに取り組めるようにしていきたいと思えます。保護者の皆様も引き続き、お子さんが意欲を持ち、最後までやり遂げようとする温かな声かけをよろしく願います。

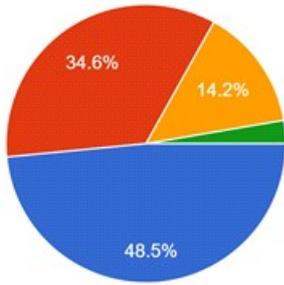
⑤「かしこく」自分から伸びようとする子どもより

児童：私は、学校生活や行事ににめあてをもち、めあての達成のためにがんばっている。

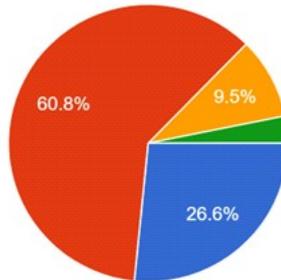
保護者：子どもは、学校生活や行事に期待や願いをもち、それを達成するためにめあてをもって主体的に取り組んでいる。

職員：子どもたちは、期待や願いを持ち、その具現のためにめあてを持って主体的に取り組んでい

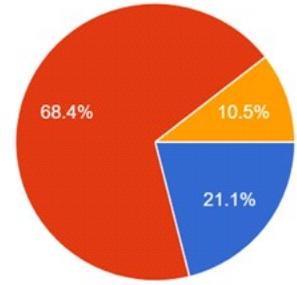
る。
 <児童>



<保護者>



<職員>



児童	A : 48.5	B : 34.6	C : 14.2	D : 2.7	単位 : %
保護者	A : 26.6	B : 60.8	C : 9.5	D : 3.2	
職員	A : 21.1	B : 68.4	C : 10.5	D : 0	

保護者の87%、児童の83%がA、Bの評価をしています。職員は、児童が授業や学校生活、行事等にめあてを持ち、主体的に取り組めることを目指してきました。保護者の方からは「目的を持って取り組む姿があった」「前向きに取り組む姿がある」等のご意見をいただきました。東小学校で行っている单元内自由進度学習についても「自分のペースで取り組むことができている」というご意見もいただきました。その一方で单元内自由進度学習について疑問の声もいただきました。自由進度学習は、教師が計画する学習内容の中で、子ども一人一人が課題を自己決定し、計画を立てて自分にあった学習速度で進め、その過程で友達と関わり合いながら学びを深めていくことを目指したものです。今後、より学ぶ意欲が高まり、主体的な姿が増えていくよう取り組んでいきたいと思ひます。また、児童全員が着実に学びを身に付けていけるように、個別に適切なアドバイスができるよう教材研究を深めていきたいと思ひます。

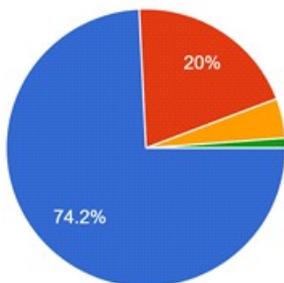
⑥「やさしく」思いやりのある子どもより

児童：私は、友だちと仲良くし毎日楽しく遊んだり話したりしている。

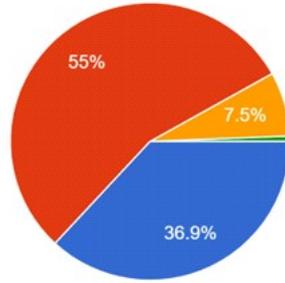
保護者：子どもは、友だちと仲良く遊んだり話したりしている

職員：友だちと仲良くし、楽しく生活をしている。

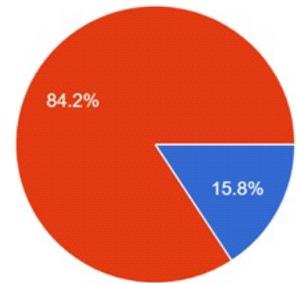
<児童>



<保護者>



<職員>



児童	A : 74.2	B : 20	C : 4.6	D : 1.2	単位 : %
保護者	A : 36.9	B : 55.0	C : 7.5	D : 0.6	
職員	A : 15.8	B : 84.2	C : 0	D : 0	

保護者・児童・職員とも「仲良くしている」と感じている割合が大きくなっています。しかし保護者の8%、児童の6%がC、Dと評価をしています。授業中はもちろん、休み時間など今まで以上に子どもたちの様子を良く見ていきたいと思ひます。お気づきのこと、心配なことがありましたら担任や学校まで遠慮なく連絡をお願いします。

4 アンケートで寄せられたご意見について

○冬は帰宅時間が早い為、現行の下校時間だと家と学校の往復のみで、放課後の楽しみがありません。その結果、オンラインゲームで友達と遊ぶ子が多いのではないでしょうか？冬場も外で健全に遊べるように、時間短縮授業日があってもいいのではないのでしょうか？

→今年度は、保護者懇談会の期間とその前に4日間の5時間授業の日を設けました。各学年の総授業時数が決まっていますので、短縮授業日を増やすことはなかなか容易ではありませんが、実施できるかどうかを検討させていただきます。

○たまにランドセルが重く行きたくないと言っています。確かに大人が持っても重く感じます。期末などでの道具の持ち帰るタイミングを工夫していただくと助かります。

→学習用タブレットを持ち帰るクラスもあり、以前に比べランドセルも重くなっています。タブレ

ットで見ることができる教科書もありますので（見ることができる教科書は学年、教科により全校統一ではありませんが）児童のランドセルの中身が、負担にならないように考えていきます。学期末の荷物の持ち帰りにつきましても、計画的に分散して持ち帰るようにします。

○学校行事が多すぎる。働き方改革と教員不足で先生方の負担も大きいので学校行事を減らしたらどうか。子供たちも行事がないのなら、もっとゆったりと探求できるのではないか。行事を1つにまとめ、年度末に自分のやりたいことを発表する場を設けるのがいいのではないかと思う。これは、千曲市教育大綱 教育理念の『一人一人の個性を照らす』に繋がると思う

○運動会について、今後も半日で終わるなら平日開催してはどうか

○運動会のリレーを復活させてほしいです。

○マラソン大会でメダルが無くなったのが残念に思っています。

○焼き芋大会などの行事も復活していただけたら嬉しいです。

→行事について、いくつかのご意見をいただきました。学校行事は、それらを通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる為に行われます。もう一度、その意義を見直し、（実施時期や種目などについても検討し）よりよいものにしていきたいと思ひます。

○マラソンは東小の伝統だと感じます。毎日行っているとマンネリ化しやすく目標も失いやすいと思ひます。先生方の声かけや一緒に走っていただくなどのお姿で子どもたちも刺激を受けると思ひます。また、記録証はせめて翌日にはいただきたいです。それぞれ、歴代を狙う子、自己新を狙う子、とにかく歩かないこと、ゴールすること目標や課題をもってやりたい子もやりたくない子も取り組んでいます。放課後や休みの日に練習している子も見かけました。子どもは素直です。記録証は、子どもたちが頑張った証です。それは子どもたちにちゃんとかえしてほしいと強く願ひます。

→今年度も、マラソン大会へ向けて、また大会当日も頑張っている児童の姿がたくさんありました。今年度もマラソン大会後、例年と同じ時期に記録賞を渡しました。今年度が特別遅かったわけではないのですが、自分が頑張った証の記録賞ですので、なるべく早く渡したいと思ひます。（その年の暦によっては翌日に渡せない場合もあります）

○下校時に昇降口の前で集まるのはなぜですか?教室で挨拶したら、帰っても良いと思ひのですが。暑い中、寒い中全員集まるまで待つ意味がわかりません。

→東小学校では、7年前に痛ましい交通事故が起きました。昇降口でもう一度集まり下校をするのは、落ち着いて児童を送り出したいため、安全な道路の横断を職員が確認したためです。ただ、集まるまでに時間がかかっている学年があるのも事実です。昇降口前で待つ時間がなるべく短くなるよう心がけていきます。

○登下校の日傘の使用

→紫外線対策や熱中症対策に効果的な日傘です。学校では使用の制限はしていませんので、ご家庭の判断で使用をお願いします。今年度も使用している児童がいましたが、まだまだ少数ですので使用しても良いことを児童に伝えていきたいと思ひます。

○「自ら学ぶ子ども」とは壮大なテーマだが、本当に実践しようとしているのか、保護者に伝わるようにしていただきたい。

→グランドデザインに明記している通り、職員は「自ら学ぶ」子どもの育成に日々努力しております。学校便り等でもお伝えしておりますが、更に分かりやすく伝わるようにして参ります。

○うちは大丈夫ですが、どうしても給食が食べられない子もいると思ひます…。食べることは自分の体を作ることですし、食べ物を作ってもらった方、給食を作ってもらった方への感謝はもちろん必要です。これからも引き続き子どもたちに教えてあげていただきたいです。学校に行くのが億劫にならないような、なるべく優しく丁寧な方法で教えてあげてほしいです。

→食育に関しては、今までと同様学年に応じ指導していきます。ただ、どうしても完食できない児童もいます。児童の負担にならないような指導をしていきます。

○授業参観では音楽や体育など色々な授業を見学できるといいと思ひます

→いろいろな教科学習の様子が見られるように年間を通して考えていきます。

○先日使っていない算数セットを回収するというお便りをもらってききましたが、これからも算数セットのように学校管理の物が増えていけば良いと感じています。保護者の負担というより、私はサステナビリティという面で向上を望みます。

→算数セットに関しては、多数のご協力をいただきありがとうございました。今後ともご協力をお願い

いする場面があるかも知れません。その場合もよろしく申し上げます。

○東小は、比較的学区が広いように思います。登下校でたくましい体をつくることにつながると思うのですが、保護者の送迎が多すぎませんか。学校にこず、近くの公園等にきていることも日常化しています。長野市内の学校でもスクールバスを導入した話も聞きます。東小も検討してもよいのではないのでしょうか。

→児童の登下校に関しましては、いろいろご心配もあるかとは思いますが、「たくましい心と体づくり」のため「歩いて登校 歩いて下校」を引き続きお願いします。また、以前もお願い致しましたが、事情がありお迎えに来る際は、担任に必ず連絡をお願いします。

○校長室の解放

→校長先生と話したい等の理由で校長室を訪れる児童は多数います。保護者の皆様も、ご相談等ありましたら、校長室に限らずいつでもご来校下さい。

今回の学校評価アンケートに大勢の方に回答していただきました。ありがとうございました。改善のご意見、温かい励ましのお言葉等を多数いただき、大変うれしく思っております。我々教職員にとりまして、何より力強い支えとなっております。今後とも、一緒に子どもたちの成長を見守ってまいりましょう。

尚、学校ではいつでもご意見、ご質問、ご要望を受け付けておりますので、遠慮なく連絡をしていただけたらと思います。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。